

お知らせ号

広報むなかた

むなかた タウンプレス

宗像市公式ホームページ
http://www.city.munakata.lg.jp/
宗像市公式フェイスブック
https://www.facebook.com/munakata.city
メールアドレス
koho@city.munakata.fukuoka.jp

発行: 宗像市
〒811-3492 福岡県宗像市東郷1-1-1
編集: 秘書政策課広報報道担当
☎0940-36-1055 FAX 0940-37-1242

毎月1日・15日発行

市フェイスブック情報

むなかたびと「川上農園・川上耕太さん」

市公式FBで人気のあった記事を紹介していきます。ぜひFBもチェックしてください。

宗像市の大穂で若手農家として活動する川上さん。渾身の力作はみかんジュース。なるべく自然に近い状態のものを味わってほしいという思いから、農薬を極力使いません。甘みがあり濃厚です。(2016年8月3日投稿)



「QRコード」
←いいね! してね★

は、市広報紙以外の団体発行物です。

問い合わせ先
秘書政策課広報報道担当
☎(36)1055



1~6・10~14	7~8	エリックス・サラダ	議会だより	9 市民学習ネットワーク	14・16 市民	15 施設だより	16 そうだん
お知らせ	社協だより						



世界遺産委員会インターネット中継視聴会

世界遺産委員会の様子が海の道むなかた館でインターネット中継されました。審議予定日の7月8日には約300人、登録が決まった7月9日には約400人の市民や関係者のみなさんが集まりました。視聴会では同時通訳が行われ、各国の委員が8つの構成資産の一括登録を支持する内容を発言する度に拍手や歓声が起こりました。議論の末に4つの資産に限った内容だったイコモスの勧告から一転、議長が8つの資産一括での世界遺産への記載を採択し、その決定のアナウンスが会場に流れると参加者の割れんばかりの大きな拍手の音が響き渡りました。

400人が 登録を見守った視聴会

平成14年に始まった世界遺産登録活動が実を結ぶまでの15年間、さまざまな立場で活動に携わり、応援してきた参加者であふれた会場には、感激の涙を流す人、周りの人と握手を交わす人など、あちこちで喜びや安堵の声が聞かれました。

世界遺産登録推進室 ☎(36)9456



審議を見守る谷井市長 (前から2列目の左)

8つの構成資産は、文化的・歴史的に結びついたり、本資産の価値を理解するためには8つ全ての構成資産が必要である。本資産は、航海安全を祈願する信仰が古代から現在まで断絶なく続いていることを示しており、価値が高い。航海に関する資産は、今の世界遺産一覧表には少ない分野であり、本資産が世界遺産一覧表へ加わることは、世界遺産一覧表の質の向上に貢献する。沖ノ島へ女性が立ち入ることができないことについて委員国より質問されたところ、我が国より、①沖ノ島へ立ち入ることができるとは原則として神職だけ

世界遺産委員会での 主な審議内容

市長のコメント

第41回ユネスコ世界遺産委員会において、私たちが強く願っていた全資産の一括登録という結果に喜びと感動がこみ上げ、万感の思いです。登録活動がはじまって15年。ようやく世界遺産登録にたどり着きました。ここまで登録活動にご尽力いただいた専門家委員、イコモス勧告以降、関係者に対し、最後までていねいに粘り強く説明していただきました文化庁・外務省をはじめとする関係省庁、福岡県・福津市の関係者、企業のみなさまに感謝いたします。

であること、②資産の保全・管理には多くの女性が主体的にかかわっていること、を説明した (文化庁速報から) 申し上げます。そして、何よりも長い間応援していただいた宗像市民のみなさまをはじめ、この活動に携わっていただきました全体的の方々に深く感謝申し上げます。今は登録を素直に喜びたいと思いますが、世界遺産に登録されるというのには、先人たちが守り伝えてきた世界遺産を、将来にわたって守り続ける義務を負うというところでもあります。今後も、市民のみなさまはじめ、国、福岡県、福津市と手を携えながら、資産の適切な保存・保護、活用に向けてまいります。

宗像国際環境 100人会議2017を 開催します

海の鎮守の森構想
大いなる海 生命の循環

問い合わせ先
秘書政策課広報報道担当
☎(36)1055